

# 先週の回答



入社五年目の中村金之助が部長の前に立った。  
 「お呼びでしょうか」  
 「きみには今日限り会社を辞めてもらうよ」  
 「はあー」  
 「この会社から今日限り退職したまえ」  
 「なぜですか！」金之助の顔色が変わる。  
 「自分のムネに手を当ててみればわかるだろー」  
 「自分のムネに手を当てて、しばし考える中村。「わからない・・・」ムネに手を当てたまま自分の席にもどって呟く  
 中村に、隣りの席の大川が、  
 「何が？明日の天気がか」ときいた。  
 「会社をクビになった・・・」

「誰が？」  
 「オレが」  
 「何で？」  
 「わからない」と途方にくれる中村は、途方にくれながら身辺整理を不得要領の面持ちで始めた。  
 夕方になって、部長席の部長の耳に小声で囁く課長、  
 「会社のカネを使い込んだのは中村金之助じゃなくて、営業の中村毒男のほうでした」  
 「ええー、どーしよー。クビにしちゃったよ」と、部長驚愕。  
 「奥さんに電話しといた方がよろしいんじゃないでしょうか」  
 「そーしよー」と部長、あわてて受話器を手にする。

「はい、中村でございます。部長さんですか、いつも主人がお世話に・・・」中村夫人の明るい声。  
 「ご主人の首はそのままです」  
 「ハァー、主人の首がそのままなんです」  
 「そのままです」と部長、電話を切る。  
 (わからない・・・) 電車の中でも電車を降りてからも、首を傾けて自宅に向かう中村金之助。  
 (どのままなのかしら・・・主人の首?)  
 首を傾けながら玄関に向かう中村夫人。  
**ゴツン!** 同時に玄関を開けた投げ首の二人がゴツンコした。



投げ首とは、首を前に投げ出すようにすること。

# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。